

2022 年度 自己点検・自己評価報告書

2023 年 4 月 19 日 自己点検・自己評価委員会

2023 年 5 月 17 日 自己点検・自己評価委員会

中期計画について

仙台赤門短期大学は、2018 年 4 月 1 日に開学して、5 年間を経過した。その間、2020 年度以降に、1～3 期生が卒業した。中期計画は 2020 年度に開始し、2022 年度まで 3 年間を経過した。これまでの中期計画 3 年間の実施状況を振り返っての総括は、以下のとおりである。

達成した項目

- ・教育理念、3 つのポリシーの改訂
達成時期 (2021～2022 年度)
- ・自己点検自己評価の実施
達成時期 (2021～2022 年度)
外部評価委員の参画を得て実施
- ・教員の領域担当の見直しと再配置
達成時期 (2021 年度)
- ・全教員が修士号以上の学位を取得し、教員の質向上に努めること
達成時期 (2022 年度)
2023 年 3 月の時点で、教員 20 名のうち、博士号取得者 5 名、修士号取得者 13 名であり、目標はほぼ達成した。
- ・看護と伝統医療の連携研究を推進すること
この 4 年間、年に 1 度、日本伝統医療看護連携学会学術集会を開催し、年に 2 号、学会誌を発行してきた。
- ・短大財務の黒字化
短大の完成年度以降 2 年間、私学補助金の交付を受け、これによりわずかではあるが黒字に転換できた。在籍者数の増加と「教育の質に係る客観的指標」の改善により、補助金の増額が図られたものとする。

進行しつつある項目

- ・新カリキュラムの準備と実施

未だ達成できず、さらなる努力が必要な項目

- ・ 学生の収容定員 240 名の確保
- ・ 90%以上の国家試験合格率

中期計画に記載はないが、推進すべき重要項目

- ・ 2024 年度認証評価

新型コロナウイルス感染予防について

2020～2022 年度の 3 年間、学内に感染が散発することはあっても、クラスターの発生は 1 件もなかった。また授業、特に臨地実習では制約が多かったが、何とか遂行できた。

以上の状況を勘案し、2023 年度の目標を、以下の 3 点に再編して設定する。

- (1) 2024 年度認証評価に向けて準備
- (2) 学生の収容定員 240 名の確保
- (3) 国家試験合格率 90%以上の達成